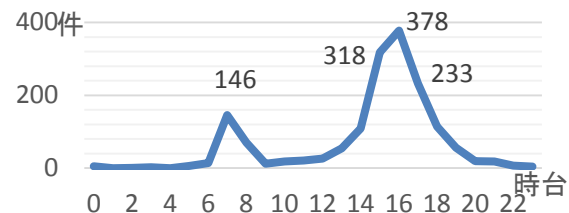


登下校防犯プランの概要

登下校時における子供の安全の課題

- (1) 子供の被害は登下校、特に下校時(15~18時)に集中
犯罪件数が減少する中、ほぼ横ばいで推移
 - (2) ①既存の防犯ボランティアの高齢化、②共働き家庭の増加
→「地域の目」が減少、「見守りの空白地帯」が生じている
- **登下校時における総合的な防犯対策の強化が急務**

子供(13歳未満)が被害者となる身体犯の発生状況
(土日除く。道路上での事案に限る)(H27~29年累計)



2. 通学路の合同点検の徹底及び 環境の整備・改善

- (1) 通学路の防犯の観点による緊急合同
点検の実施、危険箇所に関する情報共有
- (2) 危険箇所の重点的な警戒・見守り
- (3) 防犯カメラの設置に関する支援、防犯
まちづくりの推進

4. 多様な担い手による 見守りの活性化

- (1) 多様な世代や事業者が日常活動の
機会に気軽に実施できる「ながら見守り」
等の推進
- (2) スクールガードの養成、防犯ボランティ
ア団体の活動等の支援
- (3) 「子供110番の家・車」への支援等

1. 地域における連携の強化

- (1) 登下校時における防犯対策に
関する「地域の連携の場」の構築
- (2) 政府の「登下校防犯ポータル
サイト」による取組の支援



3. 不審者情報等の共有及び 迅速な対応

- (1) 警察・教育委員会・学校間の情報共有
- (2) 地域住民等による効果的な見守りや
迅速な対応に資する情報の提供・発信
- (3) 放課後児童クラブ・放課後子供教室等
の安全対策の推進

5. 子供の危険回避に 関する対策の促進

- (1) 防犯教育の充実
- (2) 集団登下校、ICタグ、スクールバス等
を活用した登下校の安全確保の推進